

教科（科目）	保健体育（保健）	単位数	1単位	学年 （コース）	1学年 （普通科）
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>① 「深慮にして実践」「誠実にして勉励」「和親にして敬愛」の教育目標の下、物事に主体的に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>② 自身の健康を保ちつつ、社会的な自立を目指し、多様性を尊重しながら、他者と協働して取り組む力を育成する。</p> <p>③ 教科横断的な視点を持ち、様々な学習活動をとおして創造力、行動力、コミュニケーション能力を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。</p> <p>① 生徒一人ひとりの目標や進路希望が実現できる教育課程を編成し、教育活動を展開する。</p> <p>② 3年後の進路を見据えた学力の定着と活用に向け、ICT機器を活用するなどして、主体的・対話的で深い学びと探究的な学習を行う。</p> <p>③ 自己の在り方生き方を探究するため「総合的な探究の時間」を主軸に、課題発見・解決、自己表現の育成に取り組む。</p> <p>④ 様々な状況や環境に対応し自己の力を向上させるためボランティア活動やインターンシップ、外部検定試験など生徒が自ら挑戦できる機会となる情報を積極的に提供する。</p> <p>⑤ 学校行事や部活動などの生徒の主体的な活動の支援に向け、安全・安心な教育環境に努める。</p>

2 学習目標

<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、技能を身につけさせる。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養わせる。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作づくりを目刺し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身につける。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 ・ ペアワークやグループワークでの発言や取組（他者や仲間への関わり方等）の観察 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 ・ ペアワークやグループワークでの発言や取組（他者や仲間への関わり方等）の観察 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」 で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数	領域	教材	学習活動(指導内容)	評価方法
4	01 健康の考え方と成り立ち	2	【1単元】 現代社会と健康	現代保健体育ノート(大修館)	01 さまざまな健康の考え方について説明できるようになる。健康を成り立たせている要因について説明できるようになる。	授業中の発言や取組
5	02 私たちの健康のすがた 03 生活習慣病の予防と回復	3			02 わが国の健康水準の変化とその背景について説明できるようになる。わが国の現在の健康問題について説明できるようになる。 03 生活習慣病の種類と要因について説明できるようになる。生活習慣病の一次予防、二次予防について説明できるようになる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等
6	04 がんの原因と予防 05. がんの治療と回復	4			04 がんの種類や原因について説明できるようになる。がんの一次予防、二次予防について説明できるようになる。 05 がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できるようになる。がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できるようになる。	授業中の発言や取組
7	06 運動と健康 07 食事と健康 08 休養・睡眠と健康	3			06 健康と運動の関係について説明できるようになる。目的に応じた健康的な運動のしかたについて説明できるようになる。 07 食事と健康の関係について説明できるようになる。健康的な食事もとり方について説明できるようになる。 08.健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できるようになる。健康と睡眠の関係及び健康により睡眠のとり方について説明できるようになる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等 定期考査
8	09 喫煙と健康	1			09 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できるようになる。喫煙対策について、個人と社会に分けて説明できるようになる。	授業中の発言や取組
9	10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	3			10 飲酒による健康への短期的影響と長期的影響について説明できるようになる。飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について説明できるようになる。 11 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できるようになる。薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができるようになる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等
10	12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防	4			12 精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できるようになる。現代社会における精神保健の課題をあげることができるようになる。 13 精神疾患を予防する方法について説明できるようになる。精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できるようになる。	授業中の発言や取組

11	14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症	4	【1单元】 現代社会と健康	現代保健体育ノート（大修館）	14 精神疾患の治療について説明できるようになる。精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できるようになる。 15 感染症とはなにかについて潜伏期間や感染力なども含め説明できるようになる。新興感染症と再興感染症が流行する要因を説明できるようになる。	授業中の発言や取組
12	16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	3			16 感染症の予防対策について3原則から説明できるようになる。感染症への個人と社会の対策について説明できるようになる。 17 性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できるようになる。性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて説明できるようになる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等 定期考査
1	18 健康に関する意志決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	3			18 意志決定・行動選択に影響を与える要因について説明できるようになる。 健康に関する適切な意志決定・行動選択の際の工夫について説明できるようになる。 19 社会環境の健康への影響について説明できるようになる。ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できるようになる。	授業中の発言や取組
2	01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成	3	【2单元】 安全な社会生活		01 事故の実態と被害の実態について説明できるようになる。事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて説明できるようになる。 02 安全のために必要な個人の行動について説明できるようになる。すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について説明できるようになる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等 定期考査
3	03 交通における安全 04 応急手当の意義とその基本	2			03 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について説明できるようになる。交通事故における責任を3つに分けて説明できるようになる。 04 応急手当の意義について説明できるようになる。傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントについて説明できるようになる。	授業中の発言や取組

計35時間（50分授業）

7 課題・提出物等

各单元ごとに保健ノート、プリントなどの提出があります。

8 担当者からの一言

学んだ知識を日常に生かし、生活習慣等の改善と健康増進を図りましょう。